

小阪大学(リポジトリ改革)

- 登録件数: 1,000件 → (目標) 40,000件
- コンテンツ: 学内刊行物
→ 学術雑誌論文・紀要・博士論文
- 学部: 理系学部(教員3,000人)
- 背景: 学長がノーベル賞を受賞。IRに登録済。
1ヶ月で1,000件DL。
- 広報: HP(大学・図書館)メルマガ、
ちらし、ポスター、研究室訪問など。

研究成果をもっと公開しませんか

過去に書かれた論文も、これから書かれる論文も

小阪大学機関リポジトリ

<http://www.xxxx.xxxxx-u.ac.jp/XXXXXX/>

機関リポジトリをご存知ですか？

先生方が**本学で生産された様々な情報**を電子的に保管し、インターネットで世界に発信するものです。

- 学術雑誌掲載論文
- 研究報告書
- 講義用資料
- 紀要論文
- 学位論文
- 会議録

研究成果を、**無料**で閲覧可能です。

小阪大学機関リポジトリ

- 2008年度末に公開
- 登録件数: 1,000件
- 公開URL:

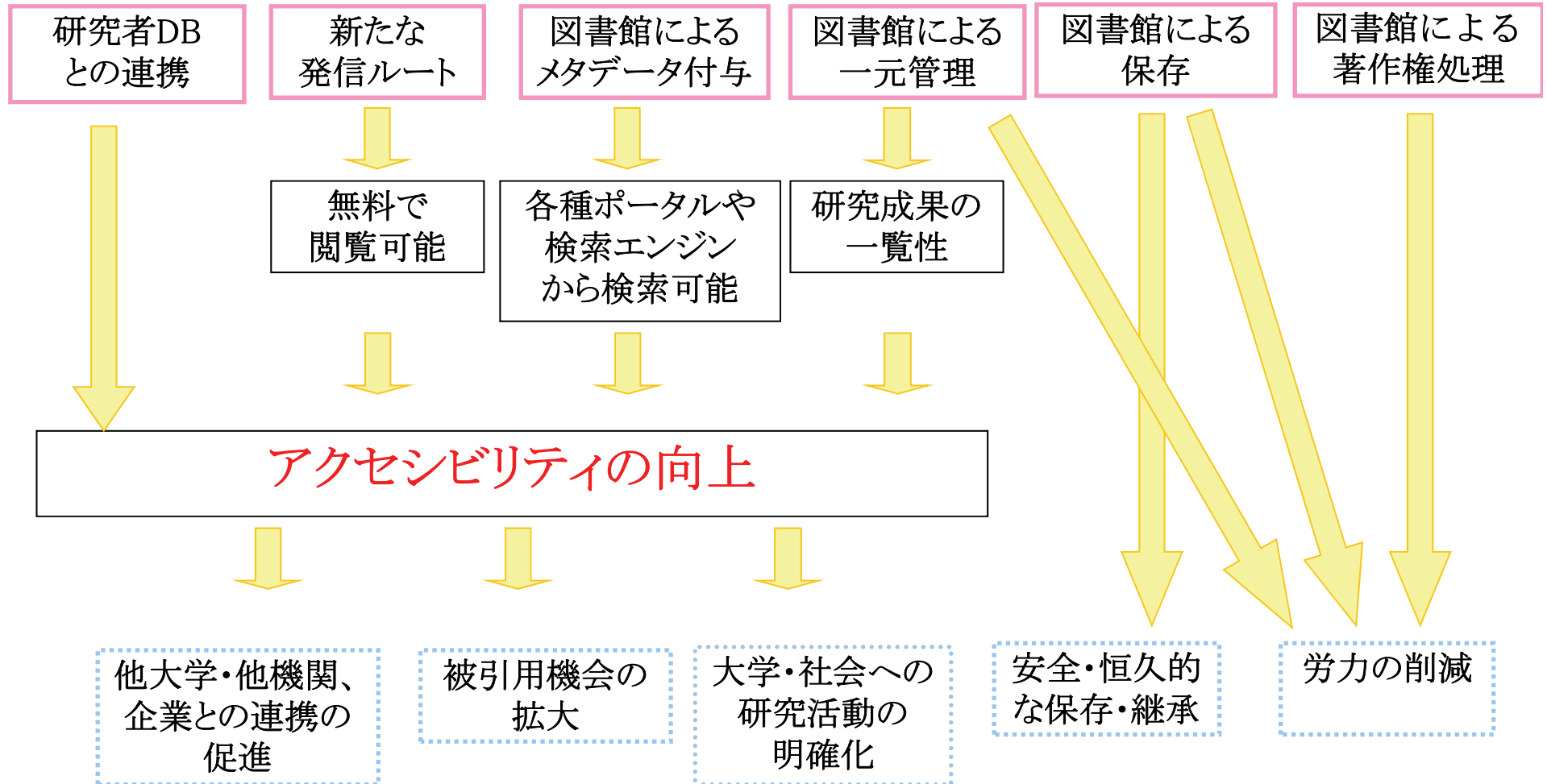
<http://www.xxxx.xxxxx-u.ac.jp/XXXXXX/>

研究者の皆様をお願いしたいこと

研究成果（論文・講演資料など）を
リポジトリにご提供ください。

原稿のご提供は、電子ファイル・紙媒体
どちらでもかまいません。

研究成果登録のメリット



研究成果登録のメリット1

- 研究者データベースとの連携
- 新たな発信ルート→無料で閲覧可能
- 検索エンジンから検索可能
- 図書館の管理による一元管理→研究成果の一覧性



アクセシビリティの向上

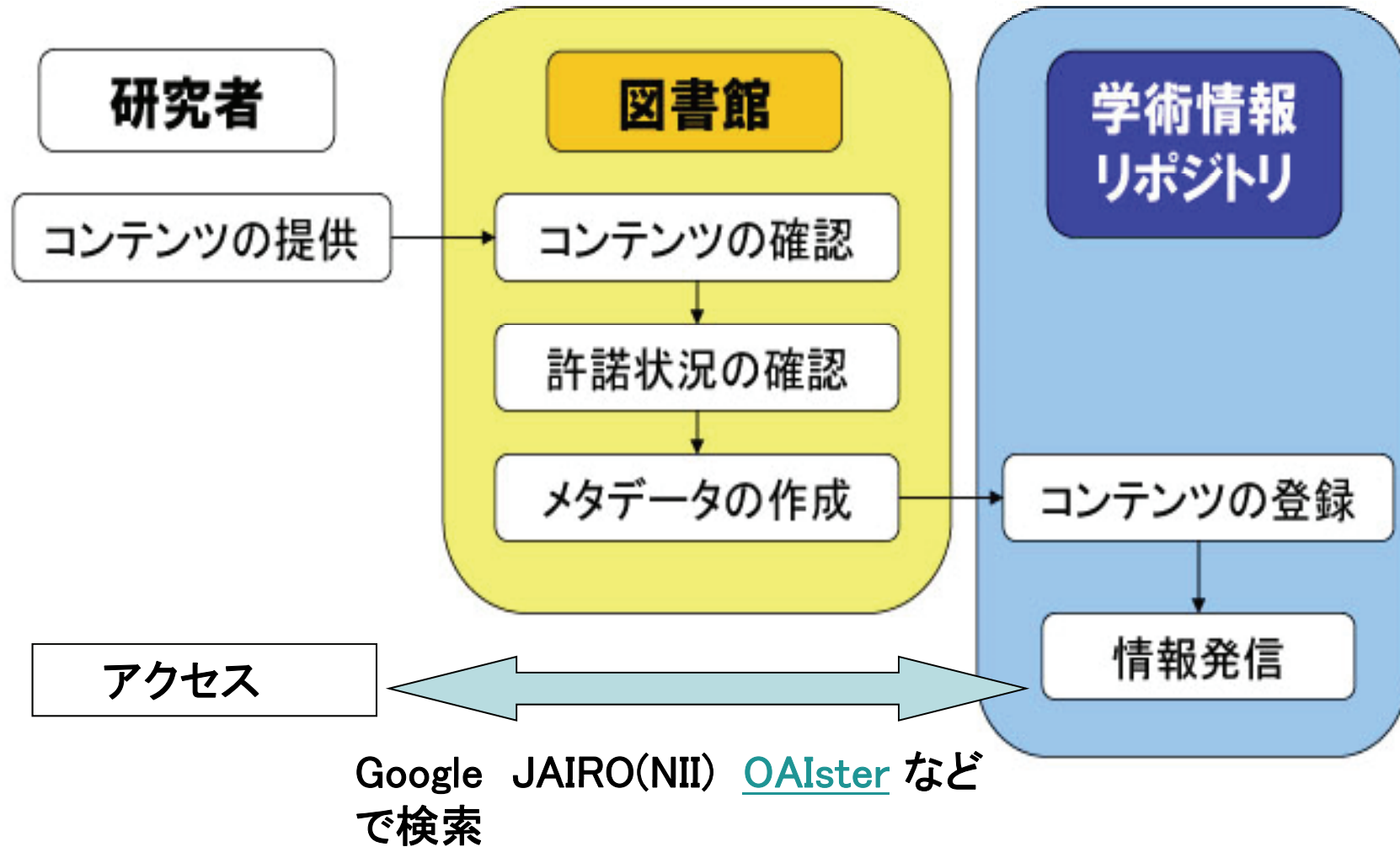


- アクセス数の増加→被引用機会の拡大
- 他大学・他機関、企業との連携の促進
- 大学・社会への研究活動の明確化

研究成果登録のメリット2

- 図書館による保存
 - 図書館による一元管理
 - 図書館による著作権処理
- 安全・恒久的な保存・継承
- セルフアーカイブの労力削減

コンテンツ登録の流れ



ぜひ、研究成果(論文・講演資料など)を
リポジトリにご提供ください。

原稿の送付・その他のお問い合わせ先

- 附属図書館 リポジトリ担当

住所:xxxxxxxxxxx

Tel:xxxx-xx-xxxx

Fax:xxxx-xx-xxxx

e-mail:xxxx@xxx.xxxx.xx.xx

<補足用> 雑誌掲載論文登録のために

準備して頂くもの

忘れずに保存をお願いします。

- **査読後、出版社に投稿した最終原稿**
各雑誌の出版社によって著作権ポリシーが異なります。
出版社の多くがリポジトリ登録を許可しているのは、
校正が入る前=査読が済み出版社に投稿した段階の原稿です。
- **著者全員の許諾**
共著者も含め執筆に関わった方全員の許諾が必要です。
許諾＝複製権・公衆送信権に関わるご了解を得るものです。

<補足用> 著者最終原稿

